

第2510地区 第11グループ
函館東ロータリークラブ

素敵なロータリーライフとともに

2013～2014年度 会長 池垣 信一



2013～2014
会報
第2750回
4月1日(火)

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30～13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/池垣信一 ●副会長/松山茂 ●会長エレクト/五十嵐稔
- 幹事/五十嵐正 ●副幹事/國谷大輔
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

本日のプログラム

「最近のインド事情について」

日本航空 函館支店長 磯村 康志氏

次週のプログラム 4月8日(火)

「観光で結ばれる函館と台湾～現状と今後の視点」

EVA AIR エバー航空 日本支社 札幌支店北海道・東北地区担当 北 圭子氏

第2749回例会 2014年3月25日(火) 天候 晴

月間テーマ 雑誌月間

■ロータリーソング 手に手つないで

■司会 池垣 信一 会長

■ゲスト

国土交通省北海道開発局

函館開発建設部長 渋谷 元氏

(北海道大学大学院工学研究院客員教授)

■幹事報告

1、米山梅吉記念館より館報が届いておりますので回覧願います。

2、9日函館北RC例会は早朝例会へ変更しております。

■災害事例

災害の発生は予測できるか



＜発生時期の予測がつかないもの＞

- 事故…原子力、鉄道、飛行機
- 地震

＜発生時期の予測がつくもの＞

- 洪水
- 大雪

＜発生時期の予測が微妙なもの＞

- 噴火…一部のみ実績
- 津波…予測ができていても時間が少ない
- 土砂災害…可能性のみ

■地震・津波



「防災と危機管理」

国土交通省北海道開発局

函館開発建設部長 渋谷 元氏

(北海道大学大学院

工学研究院客員教授)

■防災・機器管理基礎知識

結論(個人)



自助、共助、公助
自分の安全は自分で、
家族は家族で、
地域は地域で「守る」

「身を守る基本」は、
＜危険を知る
＜情報を得る
＜行動する

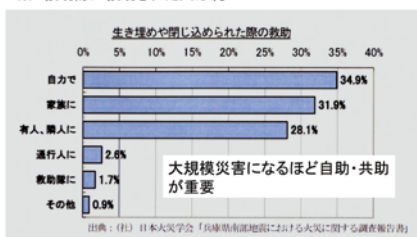
結論(組織)

危機管理 資源の最適配分問題
ひと、もの、情報、じかん、ライフライン
日常と異なる判断基準で目的遂行
目的 国民の生命、財産を守る

みずから守る



阪神・淡路大震災では、救助された人の約95%が自力もしくは、家族や隣人に救助されている。
※ 救助隊に救助された人は約2%



北海道南西沖地震津波



発生 平成5年7月12日
午後10時17分
奥尻町青苗地区
M7.8震度6
死者 202名
行方不明 28名

兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)



近畿地方の大震災
1995年 M7.3 兵庫県神戸市が最大
600人が圧死
1943年 M7.2 関東地震
1945年 M7.0 関東地震
1946年 M6.9 南海トラフ地震
1961年 M7.0 北関東地震 (死者8名)
一般的に近畿地方は被害が少ないといわれてきたが、過去には多くの被害が発生。

発生 平成7年1月17日午前5時46分
M7.3、最大震度7
死者・行方不明 6,436名
消失家屋 25万棟
罹死者の8割が木造住宅の倒壊による圧死や窒息死。

平成15年十勝沖地震



M8.0 震度42km
● 震度6弱…9町村
● 行方不明者2名・負傷者847名
● 一般被害額 234億円
● 避難勧告6,230名・自主避難928名
● 全壊104棟121世帯、半壊345棟449世帯
(北海道建設庁発表)

素敵なロータリーライフとともに

■噴火



噴石被害



■水害

郡山市避難勧告と避難 平成16年10月20日21日台風23号

郡山市における阿久津線利用での避難勧告状況

相次ぐ襲来による不安

郡山市では、約65,000人にに対し、避難した約3,000人

郡山市	約24,600世帯に避難勧告
津市	約24,600世帯

平成16年10月20日(台風23号) 兵庫県豊岡市(円山川)

この台風では、自動車も運転中に冠水した道路で移動できなくなり、犠牲となるケースが見られた。また、死者の数は、平成に比べて急増した。

避難指示対象約42,000人
避難指示の約半
避難人数 3,300人
救助 数百世帯

全国 死者行方不明者98人

課題 : H25台風25号



- ・ 気象庁: 10年に一度の強い勢力: 町長、副町長不在
- ・ 東京都からのファックスを未確認→避難指示の遅れ

■豪雪

(参考) 新聞報道



平成20年274号長沼町暴風雪災害

立ち往生の状況

- ・ 平成20年2月23～24日
- ・ 台風風の低気圧により170台が一昼立ち往生
- ・ 燃料補給(87台 1,220L)
- ・ 食料(890食)
- ・ 簡易トイレ(70個)等の提供
- ・ 除雪・救出体制

機械台数→高運車9台、ローリー5台、ドーザー9台、計 24台

救急車出動→体調不良で病院搬送1件

平成24年2月1日吹雪により国道228号通行止め(本古内町～知内町)

◆平成24年2月1日、午後2時～午後6時半
国道228号が吹雪により通行止め
本古内町(約3.7km)～知内町(約4.5km)延長6.2km
2区間 主要道路は本古内町及び知内町 14.6、7.7km

◆国道 志布志道(江津島内線) 4.1 km
国道228号 1.0km、1.8km
本古内町(約3.7km)～知内町(約4.5km) 延長6.2km
14.6、7.7km(2区間の合計)

◆江津道(津路町)の閉鎖による停車場へのアクセス不能

◆本古内町の状況
吹雪による通行止め
吹雪による通行止め
吹雪による通行止め

■防災対策

地震発災時の国土交通省の対応

- ・ 30分ルール 震度5弱で本省に被災状況報告
 - 防災担当者は直ちに出勤
 - 地域の担当者は身の回りの状況を伝える
 - 連絡がないところは大きな被害の可能性
- ・ 安否確認と被災確認をしっかりと伝達
 - 自分の怪我、家族の安否、出勤可否
- ・ 震度6弱以上で非常体制・・・全員出勤

個人として必要な地震後の行動

- 2分: 自分の身を守る
- 5分: 火の始末、脱出口の確保
(消化のチャンスは、揺れを感じたとき、大揺れが収まったとき、出火したとき)
- 10分: 家族の安全
- 半日: 町内会、隣近所の安全確認と助け合い
(救助者のほとんどは家族や隣近所の住民による救助)

地震時の行動2

- 避難 : エレベーター、車は使わない
- 地下街: 比較的安全、あわてず係員の指示に従う
- 3日 : 自分でしのご(食料、水)
- 3日以降: 本格復旧(行政、ボランティア、企業)
- ペット: 避難所へは盲導犬以外だめ
家畜への対策

日常の備え

家族会議	持ち出し品
周辺の防災情報 ・情報の種類と入手先 ・避難場所、避難ルート 連絡方法 災害伝言ダイヤル171	・貴重品 ・懐中電灯 ・ろうそく ・手袋 ・水(1人3リットル・救急医療品/日) ・携帯ラジオ ・現金 ・ライター ・ナイフ ・非常食 ・缶切り ・衣類 ・予備の電池など

ご静聴ありがとうございました。

■ニコニコボックス

池垣信一 会長、五十嵐正 幹事 函館開発建設部長 渋谷様
卓話しくをお願いします。
黒島会員 親睦活動委員会の皆さんいつもご苦労様です。
月一の男です。

■広告料 池垣税理士事務所 池垣 清信 会員
函館熱水機器管理(株) 五十嵐 正 会員

■出席報告・3月25日(火) 49名中出席29名(免除4名)
・3月4日(火) 75.00%

市内他クラブ プログラム

- 4月2日(水) 函館北 R C クラブフォーラム
- 4月3日(木) 函館 R C
- 平成25、26年度税制改正のポイントとNISA 鮫江 隆文 氏
- 4月4日(金) 函館五稜郭 R C 卓 話
- 4月7日(月) 函館亀田 R C 卓 話

◆ テレフォンサービス 26-3170 ◆

池垣信一税理士事務所

池垣 信一 会員
本町31-8 電話 51-3232

東京海上日動火災保険(株) 代理店 (株)今井保険事務所

今井 義憲 会員 昭和2-34-12 電話 41-7252